

# Frühlingslied op. 62-2

swing ♩=100

無言歌集 第五巻より 春の歌 Jakob Ludwig Felix Mendelssohn Bartholdy

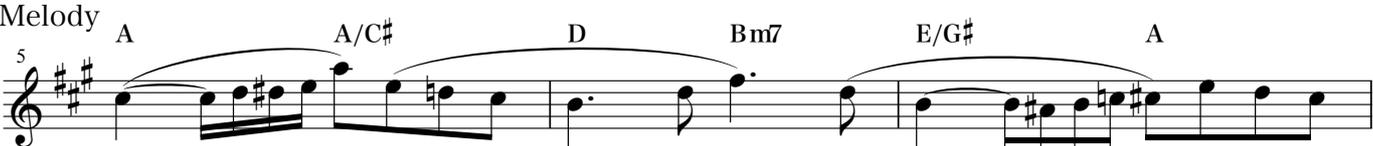
arr.by Natsuki Hosaka

piano intro.

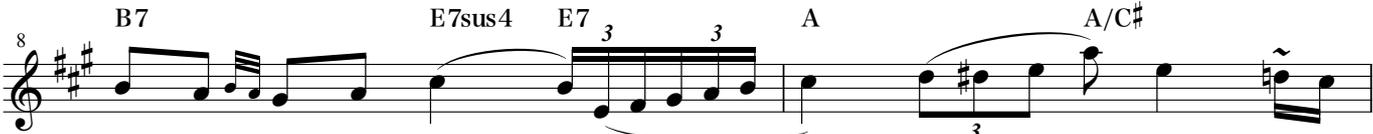


A/E Bm7/D A/C# Bm7 E7

Melody



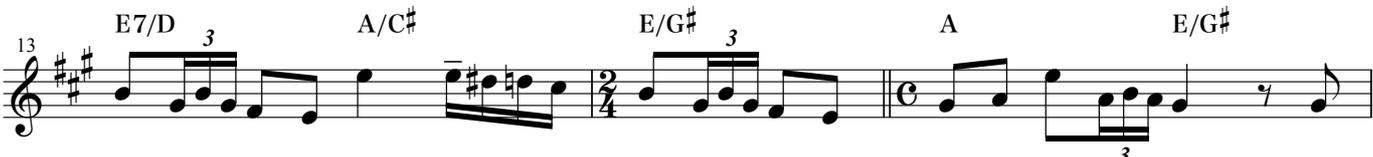
A A/C# D Bm7 E/G# A



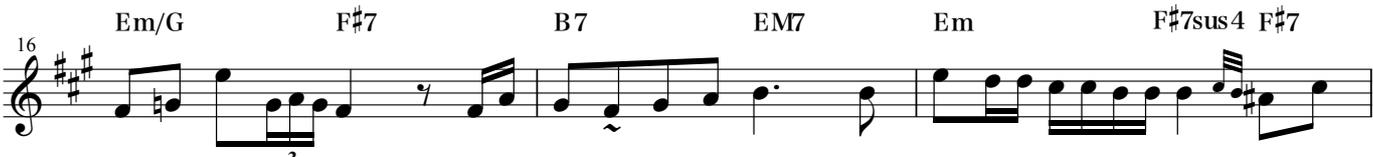
B7 E7sus4 E7 3 3 A A/C#



D F#/C# Bm7 3 E7 A 3 A/C#



E7/D 3 A/C# E/G# 3 A E/G#



Em/G F#7 B7 EM7 Em F#7sus4 F#7



B7/A E/G# B7/D# E B7/A E/G#



B7sus4 B7 E/B C#m7(#5)/B B7sus4 B7

(1809年2月3日 ハンブルク - 1847年11月4日) は、ドイツロマン派の作曲家、指揮者。モーツァルトに勝るとも劣らない早熟の天才作曲家であり、38年の短い生涯ながら同様に多作である。一度見た楽譜や一度聞いた音楽を完璧に記憶する記憶能力を有していたという。多数の言語を自在に操り、青年になる頃にはドイツ語のみならず、ラテン語、イタリア語、フランス語、英語までも話していた。音楽のみならず詩や絵（水彩画）にも興味を持ち、いくつかの作品が残っている。特に水彩画に関しては趣味として楽しんでいたのにも関わらず、本職の画家顔負けの実力を持っていた。メンデルスゾーンは、文豪ゲーテ、ロベルト・シューマンとも、親友、良き理解者の間柄である。《春の歌》イ長調、アレグレット・グラツィオーソ（1842年6月1日作曲）この『無言歌集』の中でも最も有名な曲。楽譜の冒頭に「春の歌のように」という発想標語がある。

(他にも、485系電車などでは車内チャイムに、いわき駅では発車メロディに、千里中央駅では発車放送の始まりに使用されている。) その他有名な曲は「歌の翼に」、「真夏の夜の夢」結婚式の際の音楽としてよく使われる有名な「結婚行進曲」はこの中の1曲である。

# Frühlingslied

25 E/B C#m7(#5)/B B7sus4 B7 E7sus4  
freely

28

30 E7 A A/C# Bm/D Bm7  
rit. a tempo 3 3

33 E7 A F#m7 B7 E7sus4 E7 A A/C#  
3 3 3 3 *gva*

36 (gva) Bm/D Bm7 B7 E7 A/C# Ebdim7 E7sus4 E7

40 A/E F#m7(#5)/E E7sus4 E7 A/E F#m7/E  
3 3

43 E7sus4 E7 A E7 A A/E  
3 3

46 A/C# A/E A E7 A  
tacet.